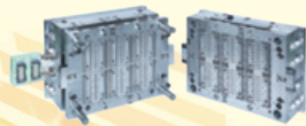


第60期

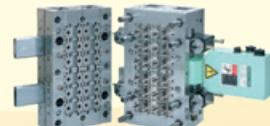
株主通信

2024年12月期

(2024年1月1日～2024年12月31日)



PRODUCT
MOTHER



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
2024年12月期の株主通信をお届けいたします。

社訓(私たちの価値観)

「技術は命」「良品は力」「誠意は道」



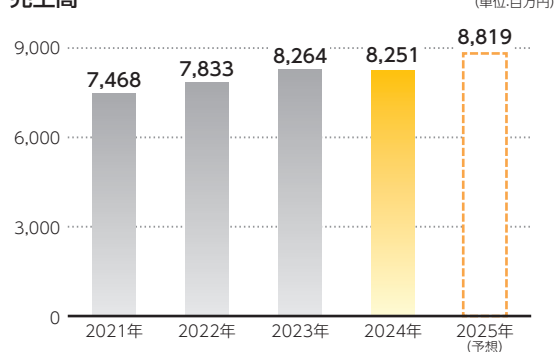
不二精機株式会社



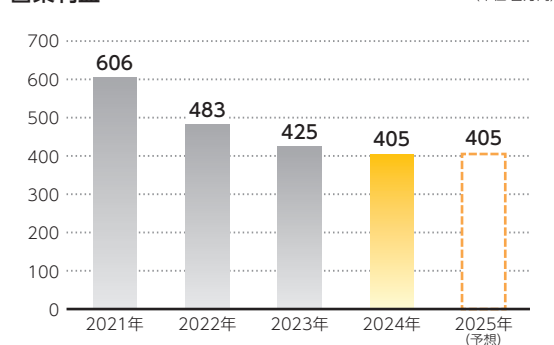
証券コード: 6400

連結財務ハイライト

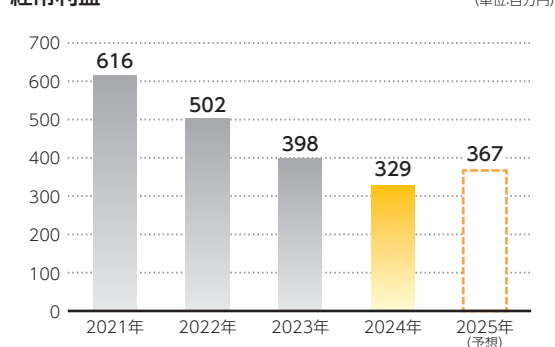
売上高



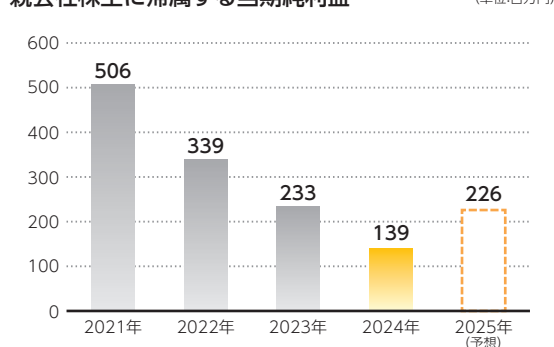
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



(注) 各指標の金額は、百万円未満を四捨五入しております。

概況

2024年の売上高は、精密成形品その他事業の売上高が3億55百万円増加した一方で、射出成形用精密金型及び成形システム事業の売上高が3億67百万円減少したことにより、前連結会計年度比12百万円(同0.1%)減少の82億51百万円となりました。

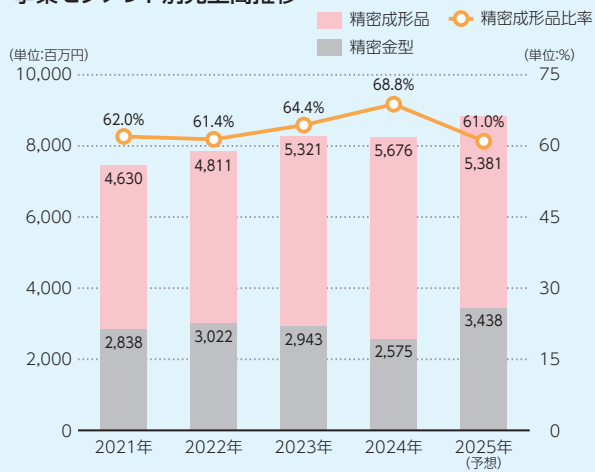
売上総利益率は前期からやや改善しましたが、鈴鹿工場でのEV向け部品の開発活動による研究開発費や人材採用費用等の増加により販管費が増加し、営業利益は前連結会計年度比20百万円(同4.7%)減少の4億5百万円となりました。為替差損や新たな資金調達に伴う手数料などにより営業外費用が37百万円増加したため、経常利益は前連結会計年度比69百万円(同17.3%)減少の3億29百万円となりました。

特別損益項目、法人税等を加え、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度比93百万円(同40.2%)減少の1億39百万円となりました。

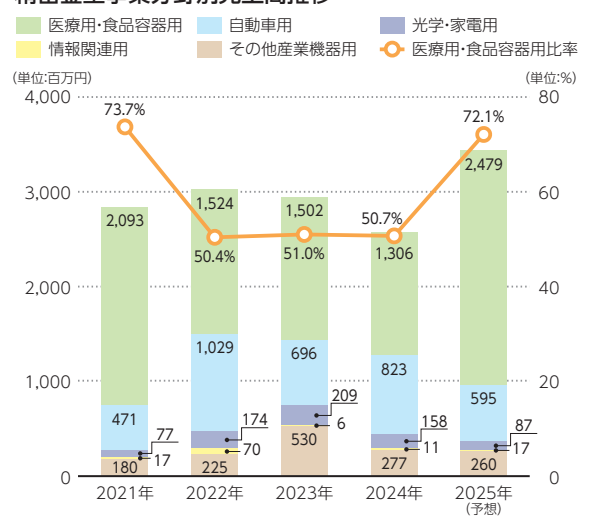
なお、海外連結子会社が所有する事業用資産に対する減損損失の計上の恐れがございましたが、当該海外連結子会社の業績に基づき減損損失の計上の要否を判断した結果、減損損失の計上を要しないものと判断するに至りました。

2025年は特に射出成形用精密金型事業で増収を見込み、次世代のEV向け部品の開発に継続して取り組むことで、ほぼ前年並みの営業利益を見込んでおりますが、将来の確実な成長の礎となるよう努めてまいります。

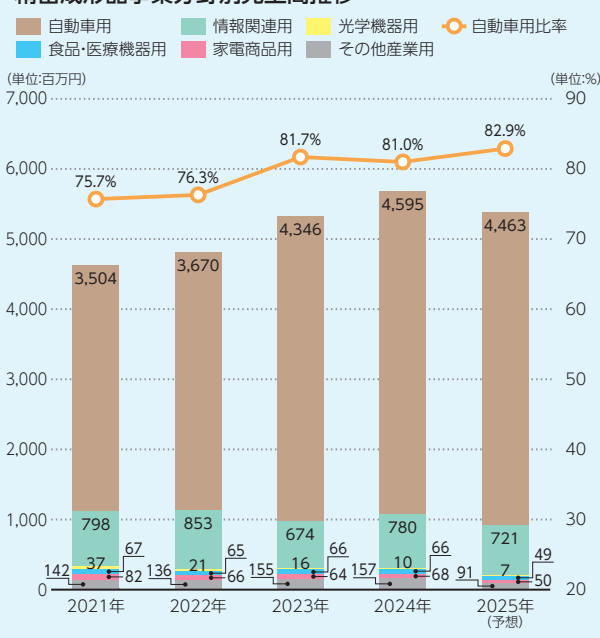
事業セグメント別売上高推移



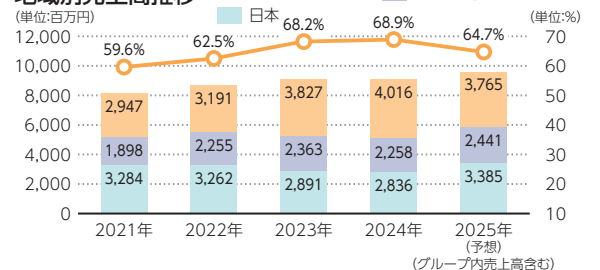
精密金型事業分野別売上高推移



精密成形品事業分野別売上高推移



地域別売上高推移



(注) 各指標の金額は、百万円未満を四捨五入しております。

事業セグメント別

当社の事業セグメントは、祖業であり競争力の源泉であります精密金型事業と2001年の上場を機に参入した精密成形品事業で構成されております。

精密金型技術を活用した精密成形品事業の売上高比率は、2014年以降、売上全体の約60%程度で推移しております。

中期的な方針として売上規模の拡大は、自動車用分野を中心とした精密成形品事業(下記、精密成形品事業<分野別>資料をご参照ください。)で計画しております。

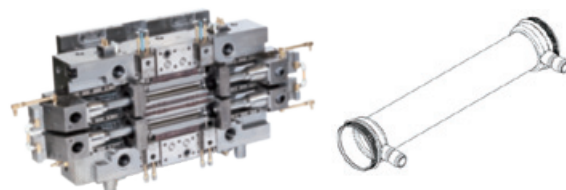
2025年につきましては、精密金型事業での増収及び精密成形品事業での安定的な受注の継続を見込んでおります。

精密金型事業<分野別>

精密金型事業は、価格競争に陥る分野とは一線を画し、売上規模の拡大ではなく、より付加価値の高い領域への集中を進めております。

医療用関連分野・食品容器関連分野からの受注活動に注力し、併せて研究開発活動による他社との差別化及びDX活用を活用したコスト構造の改革による利益率の向上を目指しております。

【人工透析部材用金型】



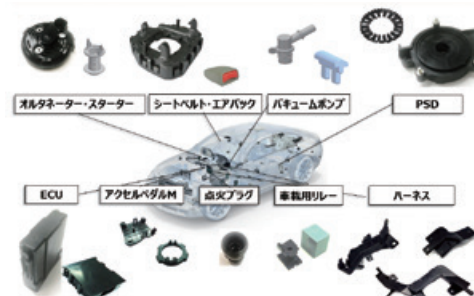
精密成形品事業<分野別>

精密成形品事業は、長期安定生産につながる自動車部品(2輪・4輪)分野の拡大を計画的に進めております。

品質保証体制のレベルアップを着実に実施し、今後増加する受注への対応のための増産体制の整備を順次実行しております。

拡大が予想されるEV向けなどの次世代の新製品開発を鈴鹿工場を拠点に、引き続き重点的に進めてまいります。

【4輪車関連の受注部品例】

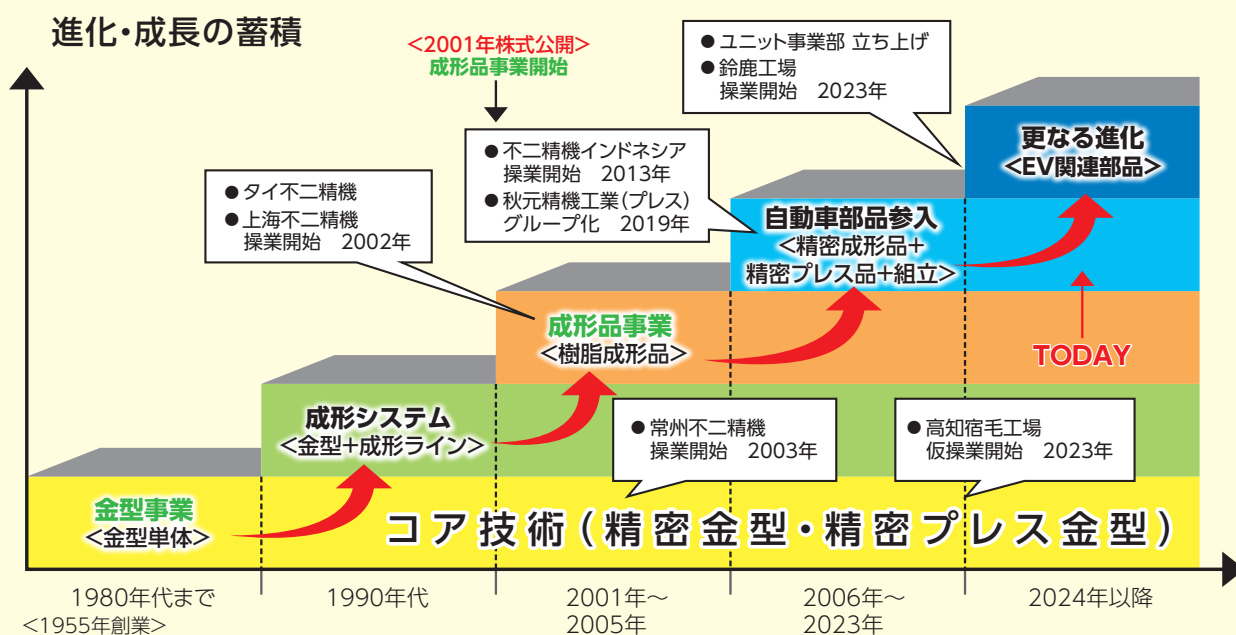


地域別

タイ・インドネシア市場では自動車部品の受注拡大に対応し、成形設備の増強と品質保証体制の整備を進め、売上規模の更なる拡大を目指しております。

中国市場では米中貿易摩擦、中国当局による各種の規制強化や景況感などを勘案し、中国国内市場の新規開拓及び生産性の向上、固定費の削減などにより一定の利益の確保を目指しております。

事業構造の変遷 - 金型から金型+成形品へ -



TOPICS トピックス

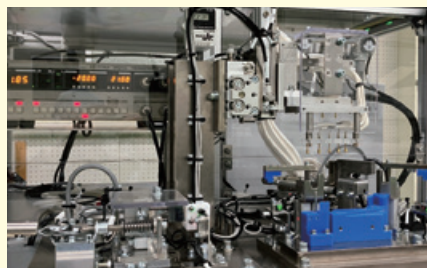
一貫生産のモデル工場 鈴鹿工場

2023年に開発・量産を目的に鈴鹿工場を操業し、2024年は開発と並行して、生産設備の増設を行い、精密プラスチック成形部品の量産の準備を着実に整えてまいりました。

寸法や電気検査などを製品がレールに乗って自動検査する設備の準備も整いました。

EV・PHEV関連部品・生産の受注が今後は見込まれており、技術革新を通じて時代をリードする付加価値の高い製品の開発・量産に努めてまいります。

不二精機株式会社の新たな柱として、鈴鹿工場の今後にご期待ください。



➤ 会社概要 (2024年12月31日現在)

商 号 不二精機株式会社
FUJI SEIKI CO., LTD.

設 立 1965年7月1日

資 本 金 5億円

従 業 員 数 108名

事 業 所 本社・松山工場・関東営業所 ほか

主な事業内容 プラスチックを加工するための射出成形用
精密金型及び成形システムの製造・販売
精密成形品その他の製造・販売

➤ ネットワーク (2024年12月31日現在)



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月下旬

基準日 定時株主総会 毎年12月31日
期末配当 毎年12月31日
中間配当 実施する場合は6月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

公 告 方 法 電子公告
電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に掲載します。

公告掲載URL <https://www.fujiseiki.com/ir/public/>

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

➤ 役員 (2025年3月27日現在)

代表取締役社長	伊 井 剛
常 務 取 締 役	藤 本 由 数
取 締 役	塩 井 寿 史
取 締 役	北 林 勝 博
取締役(社外)	高 橋 秀 昭
常 勤 監 査 役	菅 一 明
監査役(社外)	梅 田 浩 章
監査役(社外)	橋 本 豊 嗣

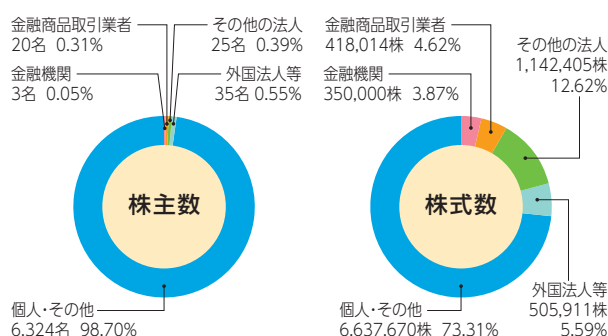
➤ 株式の状況 (2024年12月31日現在)

発行可能株式総数 23,720,000株

発行済株式の総数 9,054,000株

株主数 6,407名

➤ 株式所有者別状況 (2024年12月31日現在)



●● ホームページのご案内 ●●

ホームページでも、当社の会社情報や最新のIR情報などがご覧いただけます。

<https://www.fujiseiki.com>



トップページ

IR情報ページ



不二精機株式会社



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。環境に配慮した植物油インキを使用しています。